令和７年度　地域情報化アドバイザープロフィール

<table>
<tr><td>ふりがな</td><td colspan="2">みわ　しゅうへい</td><td rowspan="2"> </td></tr>
<tr><td>氏名</td><td colspan="2">三輪　修平</td></tr>
<tr><td>所属・役職</td><td colspan="2">つくば市政策イノベーション部情報システム課　課長補佐</td><td></td></tr>
<tr><td>活動拠点</td><td colspan="3">つくば市</td></tr>
<tr><td>略歴</td><td colspan="3">2007 年 つくば市入庁 財務部資産税課（賦課係・土地係）
2012 年 企画部情報政策課 IT 戦略室
2013 年 財務部市民税課（特別徴収係・市民税第二係・法人市民税係）
2017 年 政策イノベーション部情報政策課　RPA の共同研究開始
2019 年 総務部ワークライフバランス推進課　Excel・FileMaker から AI・ロボティクスまで各部署の業務内容に合わせた改善手法を用いて、業務を効率化・自動化を行なっている。
2022 年　政策イノベーション部情報政策課（組織改変により）</td></tr>
<tr><td>地域情報化の
専門分野・技術</td><td colspan="3">RPA や AI-OCR などの業務自動化ツールの導入支援</td></tr>
<tr><td>専門分野</td><td colspan="3">ＡＩ活用 生成ＡＩ活用 自治体システムの標準化・共通化 働き方 テレワーク ＲＰＡ導入</td></tr>
<tr><td>自治体向けメッセージ</td><td colspan="3">RPA や AI-OCR などの業務自動化ツールは、便利で効率的なツールですが、結局使うのは、膨大な反復業務を持っている忙しい現場の担当課です。
ツールの導入・継続は、時間外勤務で疲弊する部署にとって、少しでも導入負担を少なく、モチベーションを高くして取り組めるかがポイントになります。
つくば市でもまだまだ課題はありますが、得られた知見はどんどん共有していきたいと思います。一緒に悩み、一緒に解決していきましょう！</td></tr>
<tr><td>関連サイト</td><td colspan="3">RPA を活用した定型的で膨大な業務プロセスの自動化
https://www.city.tsukuba.lg.jp/shisei/joho/1008026/1008430/1007934/1007935.html</td></tr>
<tr><td rowspan="2">地域情報化に関する実績</td><td>これまでの経験業務・研究活動</td><td colspan="2">資産税、市民税の９年間の税務生活で、繁忙期において最長月 100 時間をはるかに超える時間外勤務を経験。前任者が数日時間外勤務を行なっていた作業を、FileMaker のワンボタンで終了できるようにするなどし、仲間とともに効率化を行なった。
2017 年に、情報政策課に異動後、RPA を紹介され、税務業務においてはるかに多くの時間を削減できることを確信し、庁内への普及促進活動を主業務とする。
2018 年からは、つくば市が「世界の明日が見えるまち」を掲げ、特別職の日本を変えるには基礎自治体から全国へ広げることが大事であるとの意思に賛同し、RPAevangelist を自称して、RPA 導入において得た知見を視察や講演等で伝えている。
視察対応：11 省庁、11 都道府県、119 市区町村、議会・その他団体 30</td></tr>
</table>

	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	2018 年度 ・早稲田マニフェスト研究所 働き方改革に関する研究会（東京・福岡） ・地方自治体情報システム改革研究会（東名阪） ・行革甲子園 2018 ・自治体職員向け働き方改革へ RPA 導入に関するセミナー ・指定都市市長会・中核市市長会・全国施行時特例市市長会職員勉強会 等 2019 年度 ・全国首長連携交流会 ・政令市・中核市・特別区 CIO フォーラム ・九州自治体情報システム協議会 ・ふく電協フェア ・NTT DATA Innovation Conference 2020 ・業務自動化カンファレンス 等 2020 年度 ・これからの自治体業務改革～制度の動向と先進事例～（JIAM） ・RPA 導入事例から学ぶ業務効率化による働き方改革（地域活性化センター） ・自治体向け RPA 導入支援に向けた有識者会議委員（総務省） 等